

**平成26年11月8日開催
議会報告会内での福祉文教委員会の報告に対する補足説明**

議会報告会当日頂いていたご質問

高浜市の将来の人口推計はどのように算出されているのか。

回答（厚生労働省ホームページ内、人口推計より引用）

人口推計の方法

人口の推計で推奨される方法は、「コーホート変化率法」と「コーホート要因法」の2種類があり、ここでいう「コーホート」とは、同じ年（又は同じ期間）に生まれた人々の集団のことを指す。

例えば、平成14年4月2日～15年4月1日生まれのコーホートは、平成17年4月1日時点で満2歳、平成21年4月1日時点で満6歳となり、平成21年度の小学1年生となる人々の集団である。

高浜市では、コーホート要因法を用いて推計されている。

コーホート要因法

「コーホート要因法」とは、各コーホートについて、「自然増減」（出生と死亡）及び「純移動」（転出入）という二つの「人口変動要因」それぞれについて将来値を仮定し、それに基づいて将来人口を推計する方法である。

推計の基礎となる過去の実績人口に特殊な変動があったか、推計対象期間内の将来人口に特殊な変動が予想されるため、過去の実績に基づく変化率が将来人口の推計に適さないと思われる場合、この方法を用いることが推奨される。

今回のように比較的近い将来の人口を推計する場合、特殊な人口変動は、例えばニュータウン開発や鉄道新設による大規模な人口流入のように、転出入を要因とするものにほぼ限られる（死亡率や出生率は短期間に大きくは変動しない。）。従って、将来値を任意に仮定するのは純移動要因だけとなる。

詳しくは、厚生労働省ホームページに算出法も具体的に記載されております。

<http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/seisaku/syousika/030819/2b.html>